

議会改革のためのアンケート調査結果について

さつま町議会では、議会の活性化と議員の定数及び報酬について調査研究するため、議会活性化調査特別委員会を設置し、各議員から提案された議会活性化策や議員定数・議員報酬のあり方などを検討しています。

このようなことから、さつま町議会の更なる議会改革を進めるために、町民の皆様のご意見をお伺いしたく、8月にアンケートを実施しました。

町民の皆様が議会や議会制度をどのように捉え、また、今後どのようなまちづくりを望んでいるのか、これまでの議会の活性化や今後の議会のあるべき姿について分析し、さつま町議会の活性化を図っていきたいと考えています。

◎アンケート調査の概要◎

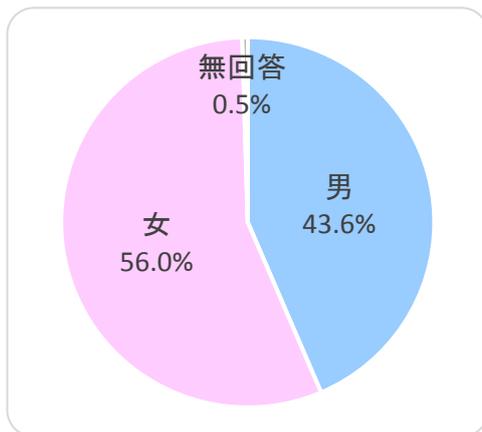
【調査地域】	さつま町全域
【調査対象】	町内18歳以上の男女1,000人（男500人，女500人） （年代別に対象人数を設定し無作為抽出）
【調査時期】	令和4年8月1日～8月31日
【回収数】	427人
【回収率】	42.7%

アンケート対象者	
30歳未満	200人
30歳代	200人
40歳代	200人
50歳代	200人
60歳以上	200人

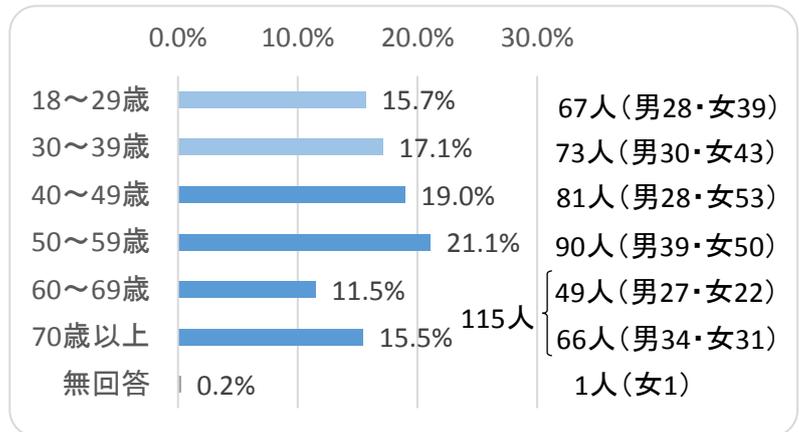
調査の結果

I あなたのことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。



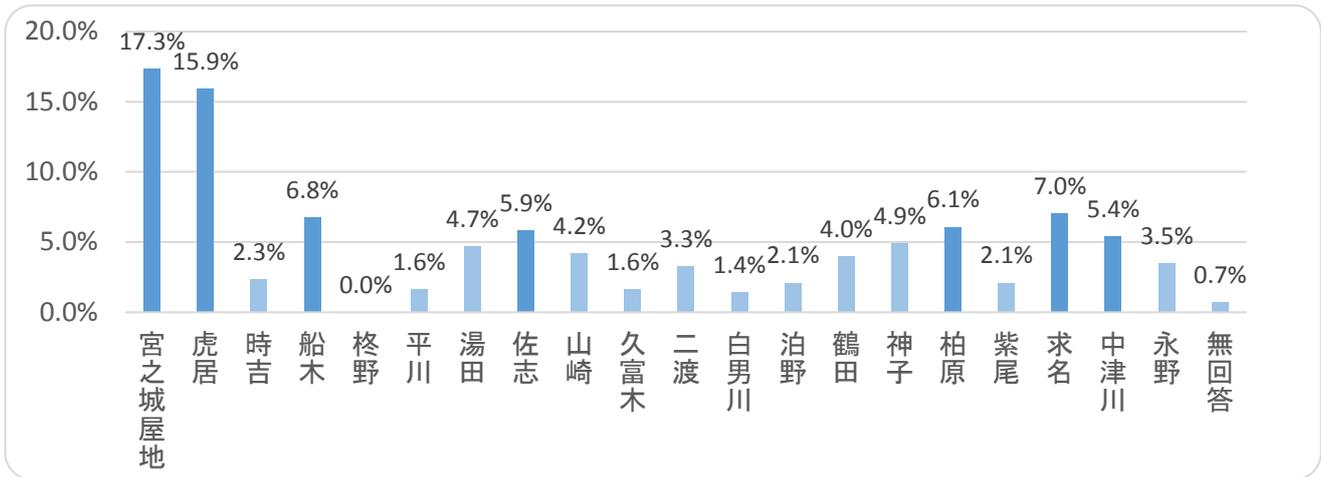
問2 あなたの年代はどれですか。



※回答者の関係で数字が合わない箇所があります。

○女性の回答が多く寄せられましたが、年代が高くなるにつれ男性の回答割合が高くなる傾向にありました。

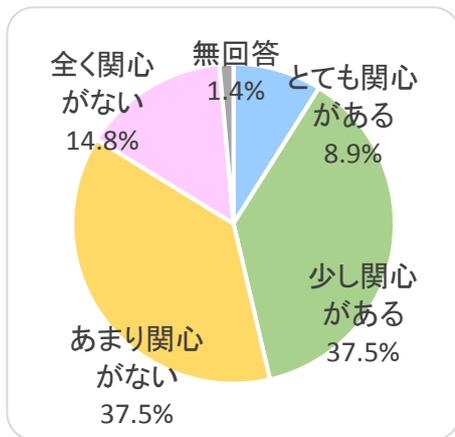
問3 あなたの住んでいる地区は次のうちどちらですか。



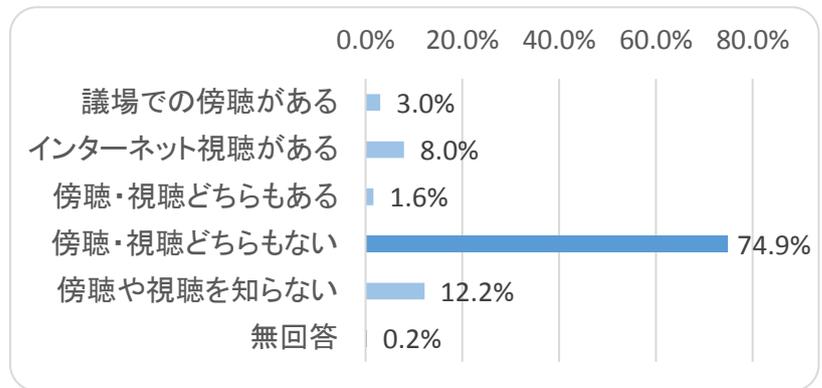
○無作為抽出のため人口の多い地区の対象者が多く、回答者もそれに併せて多くなっています。

II さつま町議会について

問4 あなたはさつま町議会に関心がありますか。

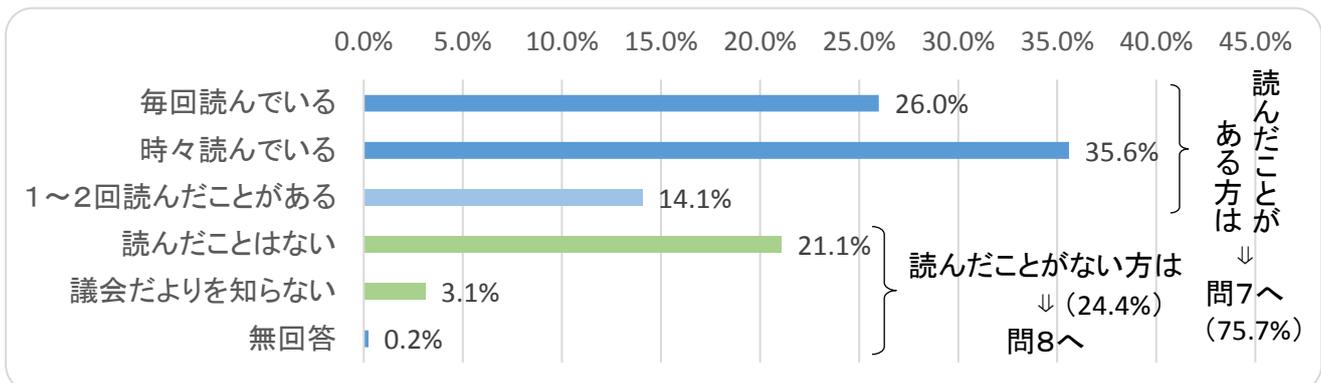


問5 毎年3月、6月、9月、12月に定例会を開催し、議場での傍聴のほか、インターネットによる中継もしていますが、あなたはさつま町議会の会議等を見たことがありますか。



○町議会に関心のある方・ない方はほぼ同数ですが、議場での傍聴やインターネット中継を見たことがある方は、あまりいないようでした。

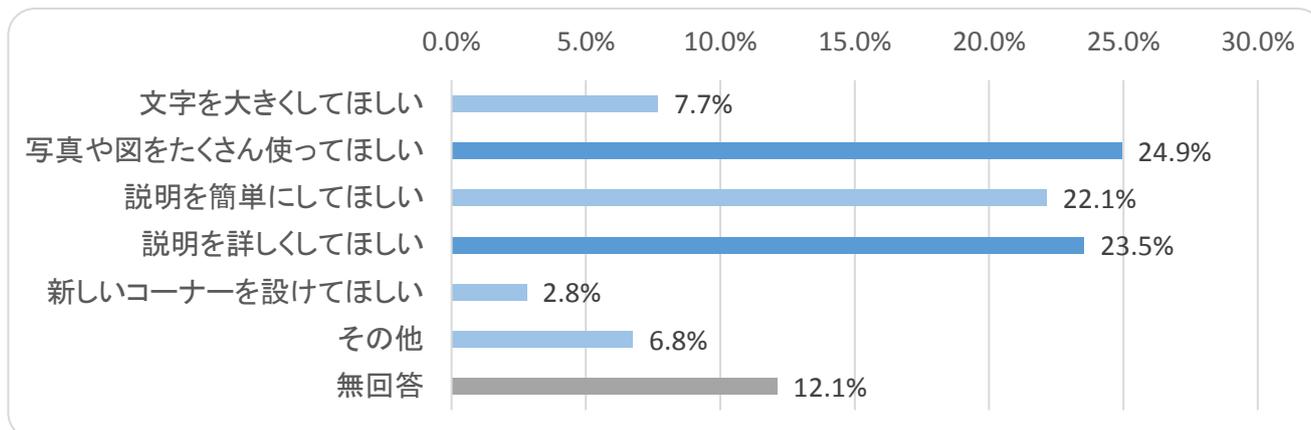
問6 年4回の定例会後の5月、8月、11月、2月に「議会だより」を発行していますが、あなたは「議会だより」を読んだことがありますか。



○8割程度の方が議会だよりを読んだことがあり、毎回・時々読んでいる方は60%程度で、議会だよりへの関心の高さが伺えました。一方、読んだことがない方にも手にとってもらえる工夫が必要です。

(「議会だより」を読んだことのある方へ)

問7 「議会だより」の充実のためにどのようなことを望みますか。(2つまで回答可)



(1) 設けてほしい新しいコーナーの例 【7件】

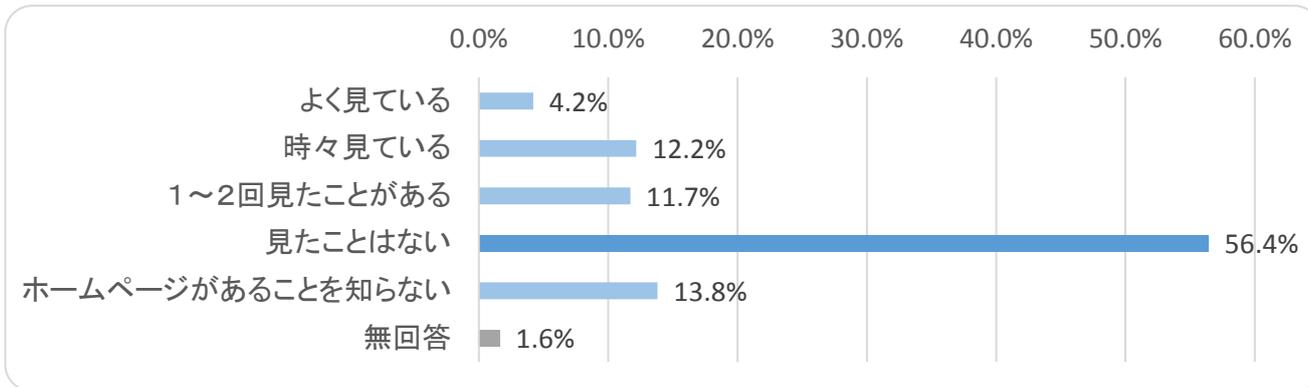
- ・議案請願への議員毎の賛否一覧表をしめしてほしい
- ・議員1人, 1人の紹介, 思っていること
- ・議員の1日や普段の生活の様子など親しみやすい内容など
- ・経済的観点からも説明なりしてほしい
- ・議員の個別の活動取組みについて報告を。個別の政務調査費の使い方について説明を。
- ・議会で答弁があった後、どうなったのかなど、途中経過でも議会だよりにあったらいいなと思います。
- ・町民も、インターネットで町長に質問、意見を投稿できる提示板の作成

(2) その他のご意見 【21件】

- ・今のままでよい。
- ・内容に心が動かない
- ・内容が幼稚(質問内容)
- ・本音で質問, 回答がほしい
- ・質問だけでなく先見的事を設けてほしい
- ・写真や図があって見やすい
- ・質問の結果が良くわからない。わかりづらい。
- ・紙面の構成が変わって見やすく, 読みやすくなった
- ・誰でも分かりやすい簡単な言葉で説明してほしい
- ・地域によって異なる問題をただ文字だけでなく, 住民とも話し合い, 知ってほしい。
- ・難しい言葉が多く, 読むのが嫌になる
- ・もう少し読みやすく, 見やすくしてほしい
- ・私たちはまだ読めるが年齢が高齢になると読みにくいと思う。
- ・質問, 答弁の結果どうなったか。重要な課題については説明があってもよいのでは・・・
- ・一般質問で各議員の問が記載されているが, 方策も気付きである。議員の資質、力量も知りたい。質問の意図も知りたい。批判は誰でもできる。今後に期待しますよ。
- ・改めて議会だよりを読ませていただきました。カラーで写真も多く使われていて見やすさがありました。ただ申し訳ないのですが, 議会にあまり関心がないので内容がすんなり入ってこなかったのが感想です。

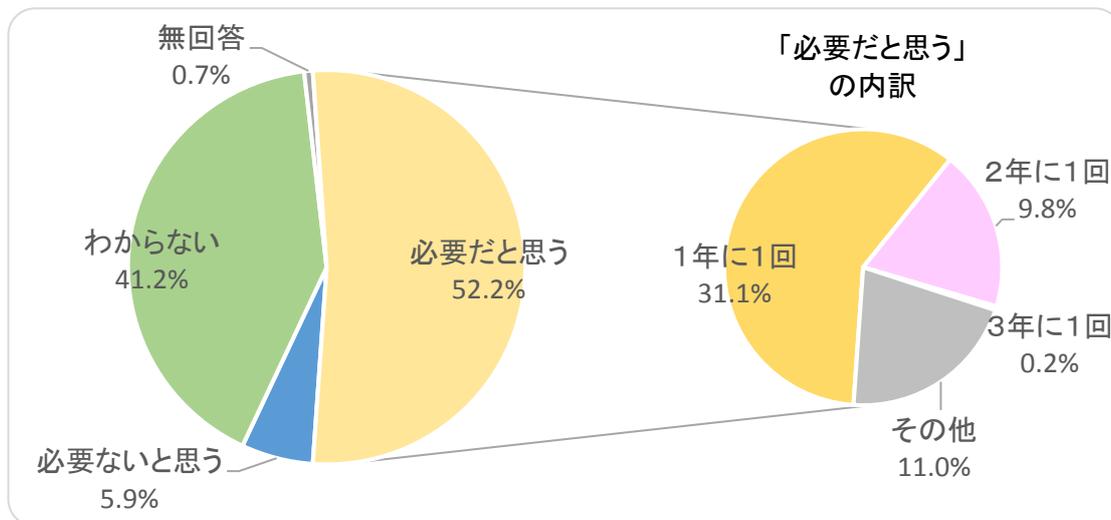
○写真や図をたくさん使ってほしいという意見が最も多いようでした。また、その他として、説明や言葉を分かりやすくしてほしいという意見も多く寄せられました。

問8 あなたはさつま町議会のホームページを見たことがありますか。



○議会ホームページについては、6割超の方が見たことはないという回答でした。

問9 町内全地区で議会報告会・意見交換会を2年に1回開催しています(R4はコロナ感染拡大防止のため中止)。あなたは議会報告会・意見交換会は必要だと思いますか。また、必要だと思う場合は、何年に1回くらいの開催がいいと思いますか。

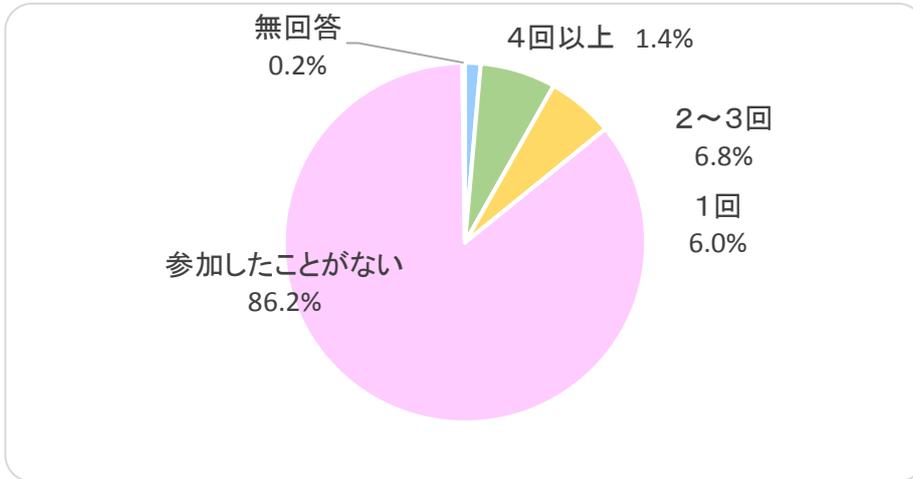


(1) 「必要だと思う」のうち、その他のご意見 【47件】

- ・半年に1回
- ・数年に1回
- ・今のやり方では必要ないと思う
- ・オンラインでの開会
- ・1年に4回
- ・10年に一回

○約半数の方が議会報告会・意見交換会が必要と感じており、そのほとんどが年1回の開催を望むものでした。その反面、わからないという回答も4割ありました。

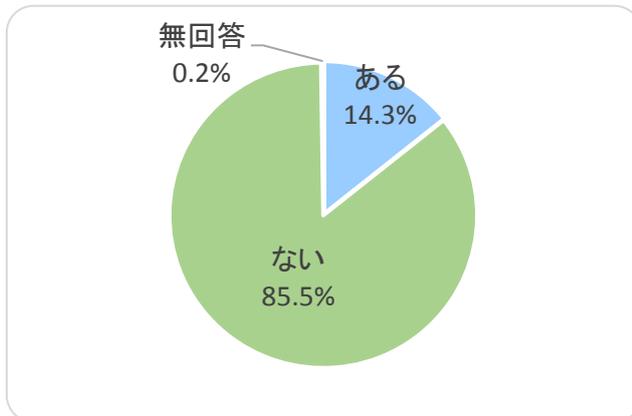
問10 今まで議会報告会・意見交換会に何回くらい参加したことがありますか。



○議会報告会・意見交換会に参加したことがない方が8割超えるという回答でした。

Ⅲ さつま町議会議員について

問11 あなたはさつま町議会議員に自分の意見や要望を伝えたことがありますか。



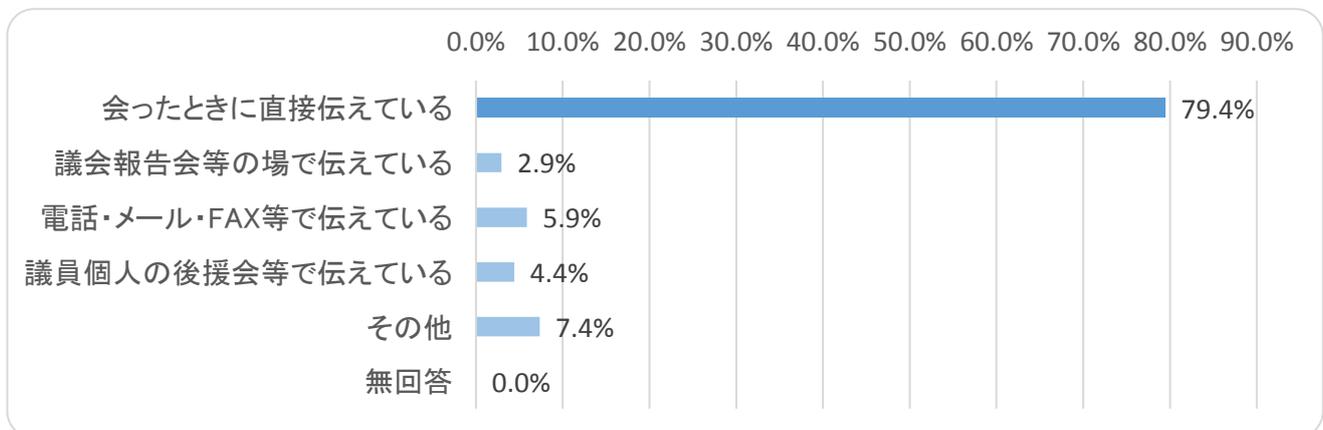
ある方は
↓
問12へ

ない方は
↓
問13へ

○ほとんどの方が議員へ意見や要望等を伝えたことがないようでした。

(意見・要望等を伝えたことがある方へ)

問12 あなたはさつま町議会議員へどのように自分の意見や要望等を伝えていますか。(複数回答可)



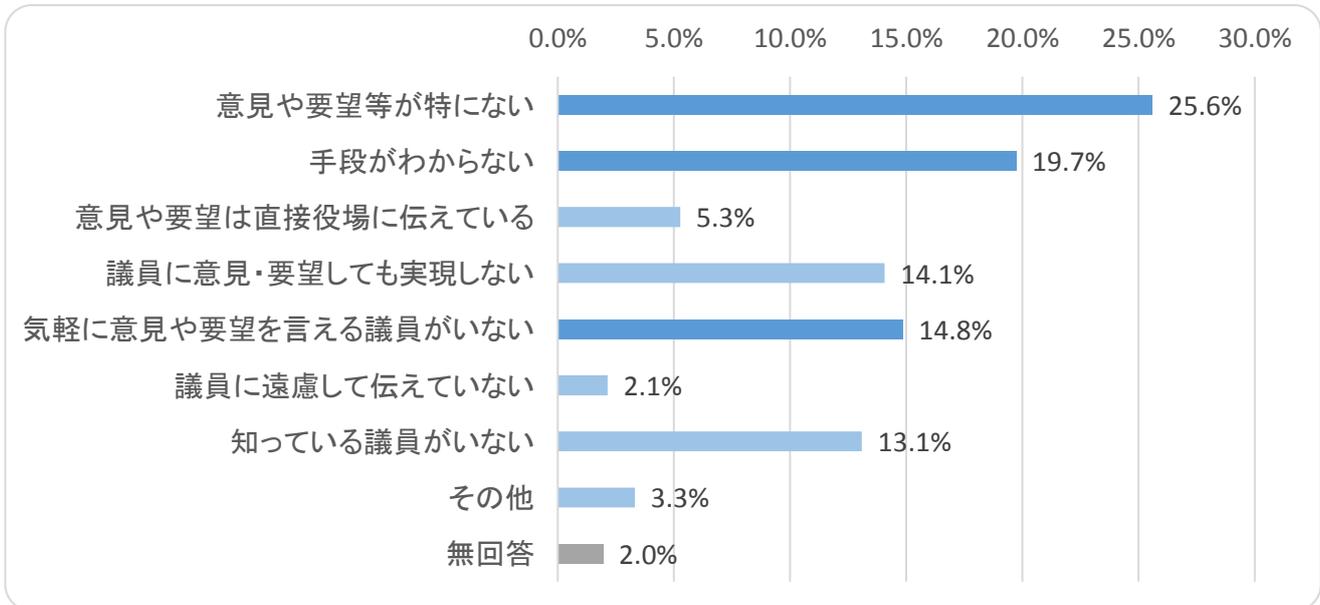
(1) その他のご意見 【2件】

- ・後援会員に伝える。個人になかなか会えない。選挙の時以外、直接伝える機会がない。
- ・団体として伝えている。議員の方からTELを頂いたときに伝えています。

○伝える手段としては、会ったときに直接伝えている方が最も多いようですが、議員と会う機会があまりないという意見もありました。

(意見・要望等を伝えたことがない方へ)

問13 伝えたことがない理由を教えてください。(複数回答可)

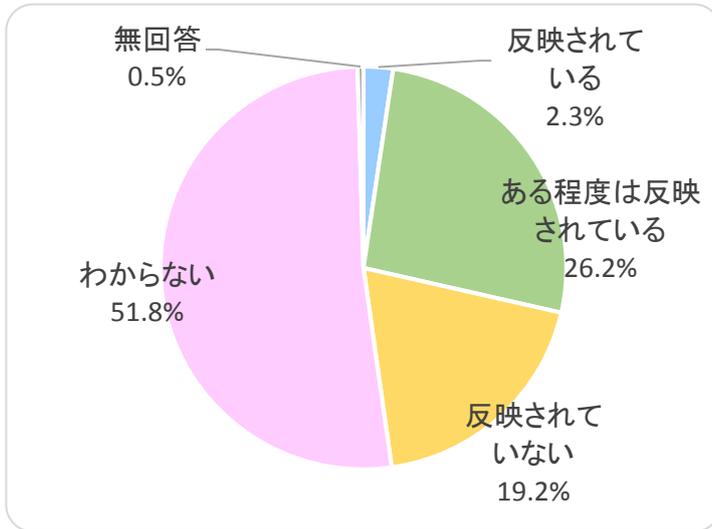


(1) 其他のご意見 【13件】

- ・議員が多い
- ・公民会長に伝える
- ・話をまともに聞いてくれるのか不安
- ・本当の活動の姿が見えない。
- ・意見、要望を伝える、インターネットの提示板を設置すればいいと思います。
- ・伝えたところで若者が根つかないので意味がない。
- ・伝えたとしても動いてくれそうにない
- ・道路陥没や側溝の水はけ等、気になるところはあるが、順番もあるだろうし、いずれ取り組まれるだろうと思うので取り立てて要望するの必要性を感じない。他に何をどこまで言っているのかがいまいちわからない。
- ・どこも同じ環境なのでできない。町道草払い。過疎化地域へお金は使えないと言われた人がいたから、要望を出しても即却下されたと聞いた。要望を聞く耳がない態度がわかったので誰も声を出さない。
- ・自分の周りのことや日々の生活にいっぱい、いっぱいまだほかのところに目が行く余裕がないから
- ・必要な事項がない

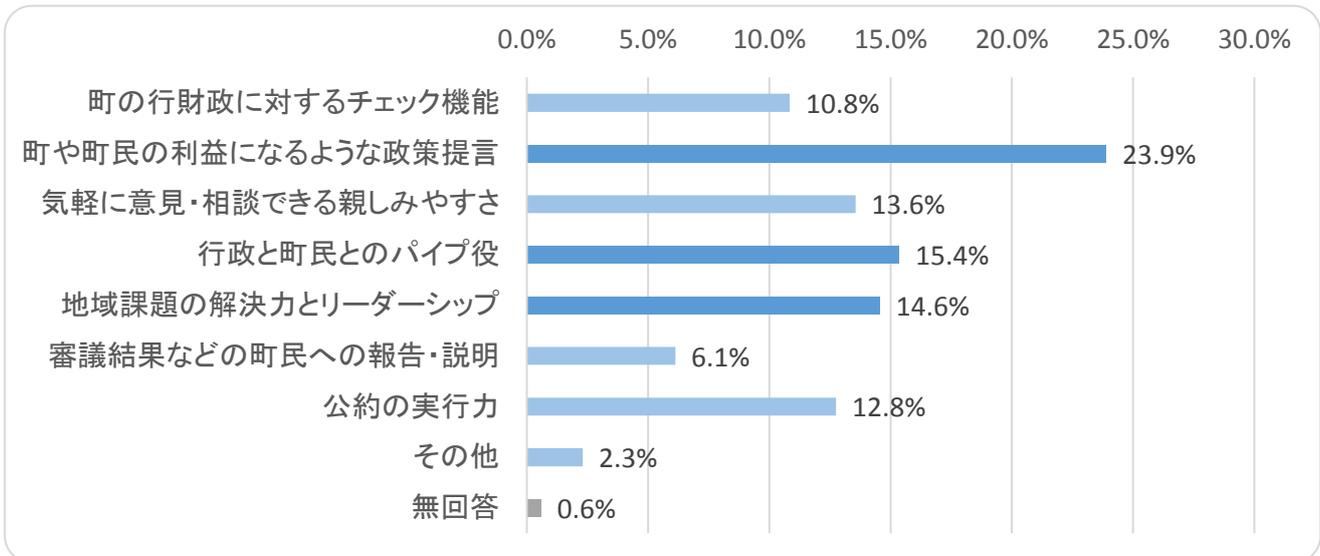
○伝えたことがない理由としては、意見や要望が特にない方や、話を聞いてもらえるか不安という意見が多いようでした。

問14 あなたの意見や町民の声がつま町議会に反映されていると思いますか。



○わからないという回答が約半数で、ある程度は反映されているが約4分の1、反映されていないが約5分の1という結果となりました。

問15 あなたは議員に対して特に何を期待しますか。(3つまで回答可)

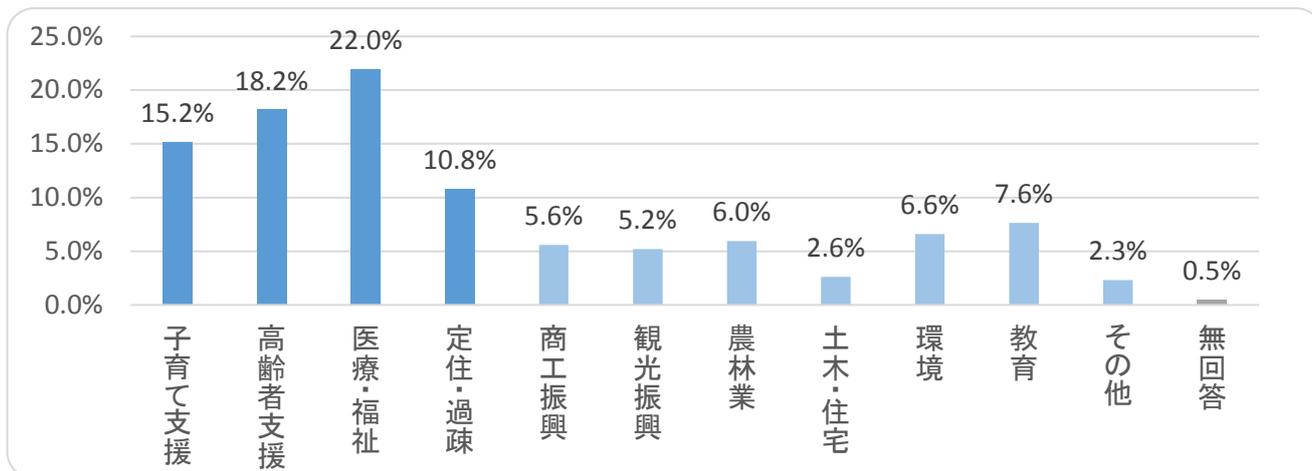


(1) その他のご意見【18件】

- ・空き家対策
- ・各地区に歩いて行ける公園の増設
- ・公約の中身
- ・公務員の給料を上げてほしい
- ・町の政策充実にて発展
- ・人口増加のための対策
- ・町の活性化や人口増加が絶対必要だ
- ・議員の高齢化、定年を設けてほしい
- ・上記7件は全て当たり前のことです。
- ・議員報酬分働いてほしい
- ・年齢が高すぎる！一般社会の定年にすべき！町財政に対して給金も高いと思う。
日当払いにしてほしいぐらい。
- ・サラリーマン感覚、選挙時は何回も訪問するけど当選後は1回も来ない
- ・道路整備の依頼をしているがなかなか実行してもらえない。
町民の代表としての責任感
- ・さつま町がどんな街になったら、幸せなのか町と議会が一緒になって考えてほしいです。
そして、町民にこうしたらさつま町は幸せになれるんじゃないかと発信してもらえたらいいか
と思います。
- ・期待していません

○町や町民の利益になるような政策提言が最も多く、次いで行政と町民とのパイプ役などに期待を寄せている意見が多いようでした。その反面、何も期待しないという意見もありました。

問16 あなたは議員に対してどのような政策課題に取り組んでほしいと思いますか。(3つまで回答可)

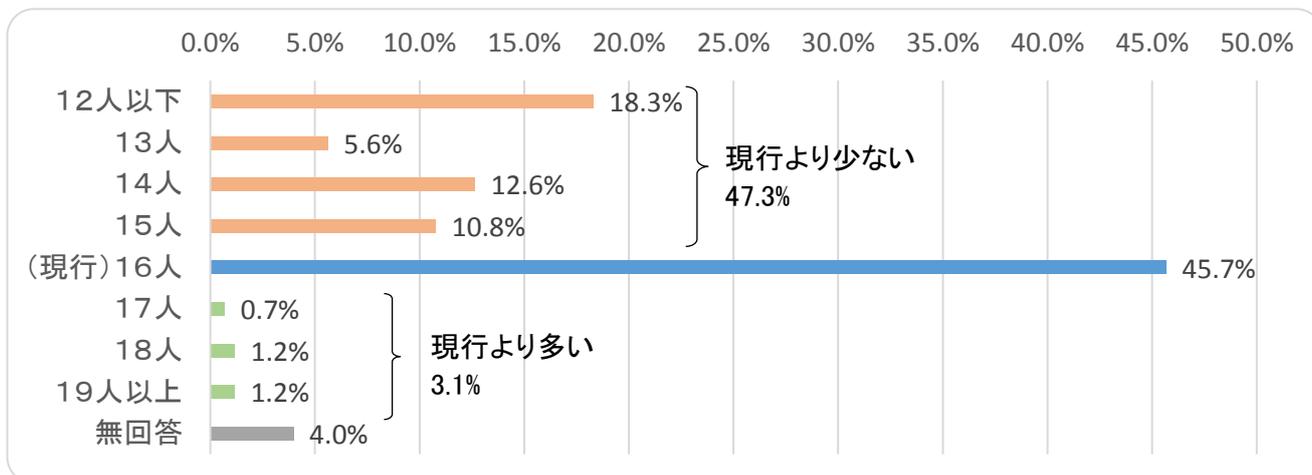


(1) その他のご意見【13件】

- ・空き家問題(管理)
- ・行政の資質向上対策
- ・財政への取組, 防衛への取組
- ・移住者だけでなく, 地元の若者が残れるよう対策をしてほしい。
- ・議員は全ての政策に精進すること。気付いてやる人は上の人、言われてやる人は並の人、言われてもやらない人は下下下の人
- ・移住の促進
- ・少子化対策
- ・公務員の給料をあげること
- ・人口減対策

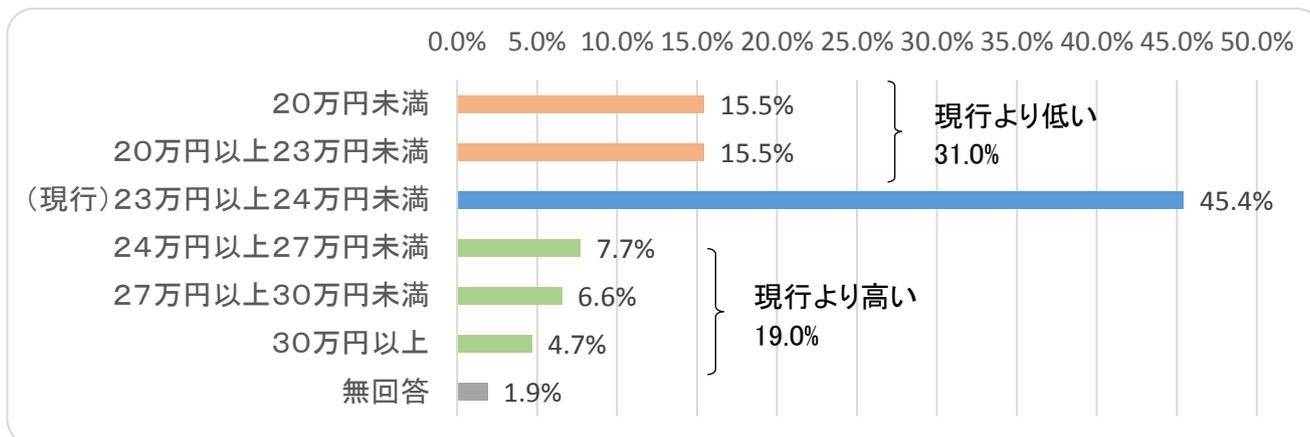
○医療・福祉、高齢者支援、子育て支援、定住・過疎といった政策課題に取り組んでほしいという意見が多いようでした。

問17 平成17年市町村合併時のさつま町議会の議員定数は28人、平成21年4月から20人、平成25年4月から現在まで定数16人となっています。議会による健全な審議や町政のチェック機能を今後も継続していくため、あなたは議員定数は何人がよいと思いますか。



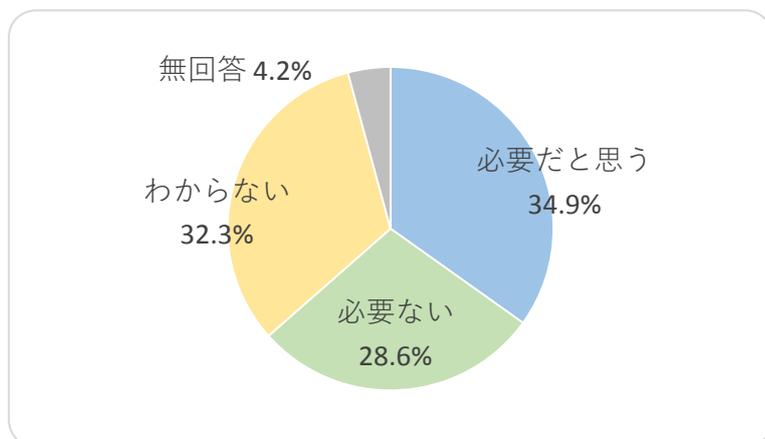
○現行どおりでよいという意見が最も多い結果となりましたが、現行より少ない定数でよいという意見を合計すると約47%あり、現行どおりより多い結果となりました。

問18 さつま町議会議員の報酬は月額236,400円ですが、あなたがもし議員になるとしたら、議員報酬は月額どれくらいが適当だと思いますか。



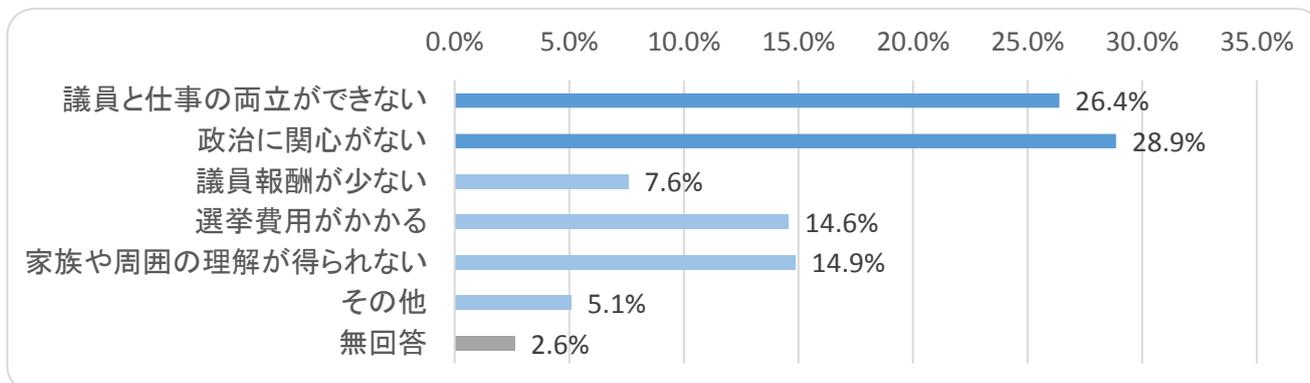
○現行どおりでよいという意見が最も多い結果となりましたが、現行より低くてよいという意見や逆に高くてもよいという意見も一定数ありました。

問19 政務活動費の支給についてどう思いますか。



○必要だと思うという意見が最も多くなりましたが、わからない・必要ないもほぼ同程度となりました。

問20 平さつま町議会議員選挙は、平成29年度が無投票当選、令和3年度も落選者が1名のみとなり、議員のなり手不足が課題となっています。何が原因だと思いますか。(2つまで回答可)



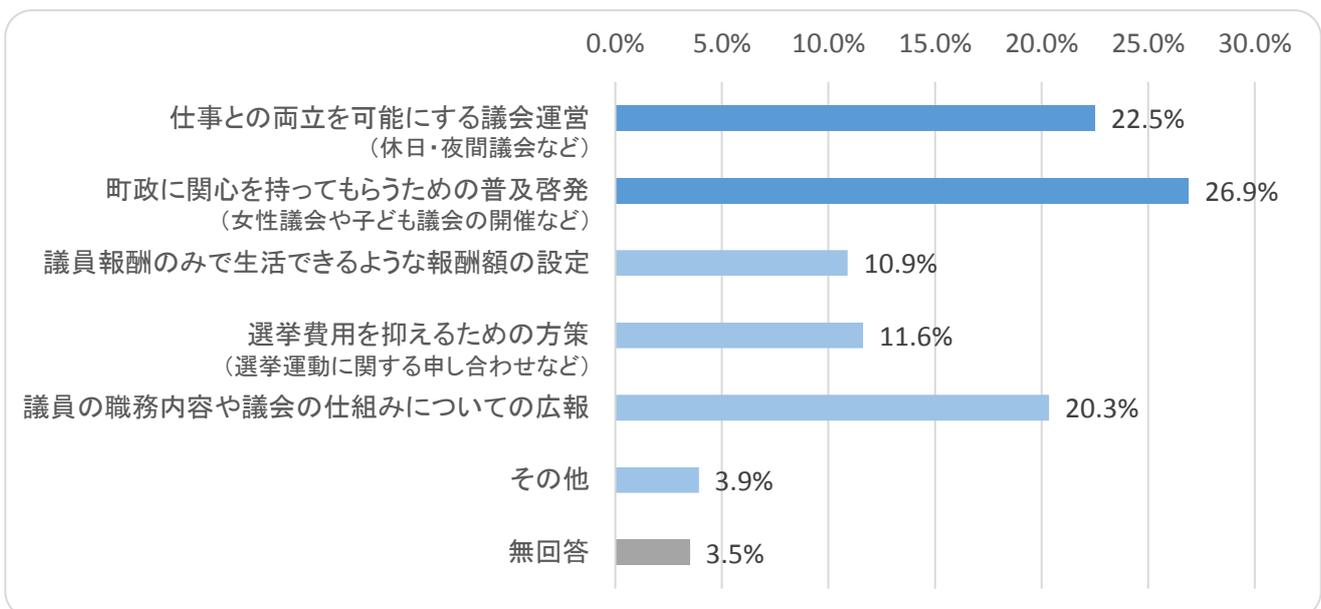
(1) その他のご意見【30件】

- ・議員数が多い。
- ・選挙が大変
- ・議員の印象がうすい
- ・柔軟な対応ができない
- ・女性や若い議員が少ない、いない
- ・高齢議員の方がでられるため
- ・人材不足、やる気が無い。精一杯生きている

- ・無投票当選はやめてほしい
- ・若い人の無関心、議員の怠慢
- ・実行力が乏しい(何をやっていいかわからない)
- ・やりがいを感じてない
- ・メリットがわかりにくいのでは？
- ・選挙に意味がもてない
- ・議員の仕事よりも選挙活動の労力のほうが大変そう。多くの支援者が必要だし。
- ・年齢の高い男性議員が多く女性や若い方は意見しても通りづらい環境だからだと思う。
- ・誰が議員でも自分の生活に関係ないと思っているから
- ・町民の意見ではなく自分の意見を通したいために議員になりたがっているから
- ・自主財源が乏しく政策の実現が難しく結果として議員の政策実現へのやりがいももてない
- ・若い世代には報酬が少ないと思う。若い世代に多く出してもらうためには、報酬をもっと上げる必要があると思う。
- ・若手に(20代から40代)に任せてくれることをしないから
- ・年長者や、長くされている議員さんで固められては若い人は議員にならないと思います。それは、意見がなかなか通らないからです。意見することも難しいでしょう。長々と居座っている仕事をしているのかしていないのかわからない方はいなくてもいいのではないのでしょうか。

○なり手不足の問題としては、政治に関心がないという意見が最も多く、議員と仕事の両立ができないという意見も多い結果となりました。また、議員に魅力を感じられないという意見や議員になっても何も変えられないという意見もありました。

問21 さつま町議会議員の平均年齢は66.3歳で女性議員は2名です。広く町民の声を届けるため、女性や若手に立候補してもらうようにするには、どのような対策が必要だと思いますか。(2つまで回答可)



(1) その他のご意見 【21件】

- ・女性は必要だと思う
- ・女性、若手立候補者への支援
- ・そこが必要な理由がわからない
- ・議員報酬のみで生活できる筈
- ・人のために働く心の教育
- ・各議員の活動に見合った報酬制度の確立
- ・議員の定年制度を設けるべきだと思う
- ・女だから、若輩だからと偏見を無くす
- ・現在、高齢な議員は若手を育てておく
- ・昔ながらの硬い考え方を変える

- ・現職の老齢化もだが、若手の言うことを聞く耳を持っていない人が多い
- ・子育て世代の見本となるように子供のことで休みの取れる体制づくり
- ・ジェンダーなども一緒。やりがいを感じないのでは。
- ・そもそも若い人や女性が(議会に)入ることを良しとしていない
- ・政治をやりたい人がする。そのような環境をつくるのが大事
- ・町民の意識が変わらなければ立候補する人は増えない。
- ・若手を育てる。頭を柔らかく。女性を見下さない。
- ・第2の人生での議員や議会でのグループ運営をやめてほしい
- ・男性の多い場所は入りづらいのが当たり前。女性の比率を上げる
- ・「若い人のエネルギーと経験者の知恵」男とか女とか年齢が高いからだめとかは思わないが、行動力は欲しい。自分自身が議員の仕事の把握できていないところもある。もっと深く知らないといまいなままで答えられない気がしてきた。
- ・広報活動は多ければいいとは思わない。縮小することも大事その中で必要なことだけでいいと思うどうせ活動できないのだから
- ・まずは平均年齢が若くならないと、女性や若手の人が立候補しにくいと思う。やっぱり年配の方ほどジェンダーフリーの考えはなじみがないと思うから

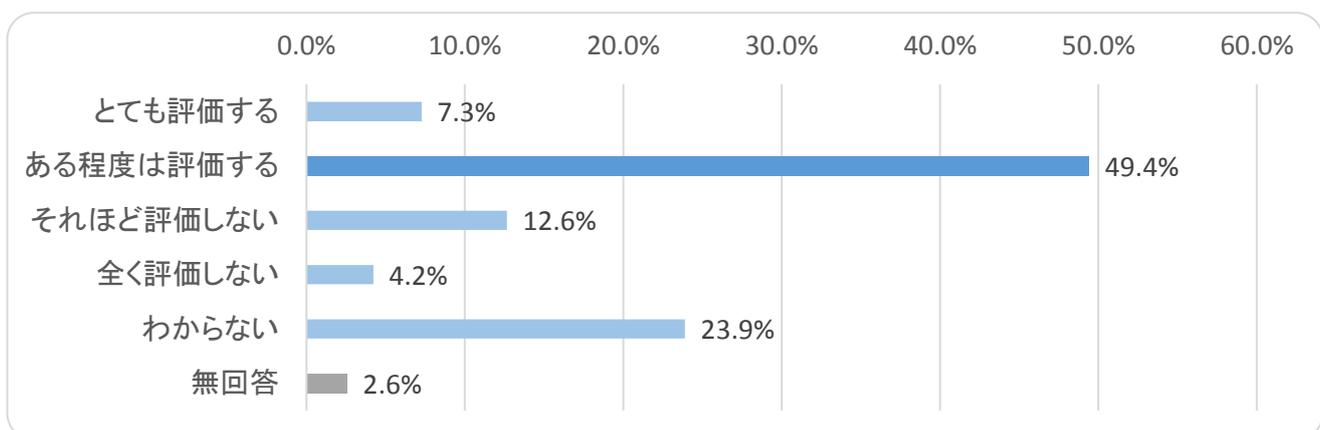
○関心を持ってもらうための普及啓発や仕事との両立を可能にする議会運営が必要という意見が多いようでした。また、若い年代が活躍しやすい・興味を持ちやすい環境整備をしてほしいとの意見もありました。

IV 議会改革について

問22 これまでさつま町議会では、議会運営の活性化のため次のような取り組みを進めてきましたが、あなたはさつま町議会をどのように評価しますか。

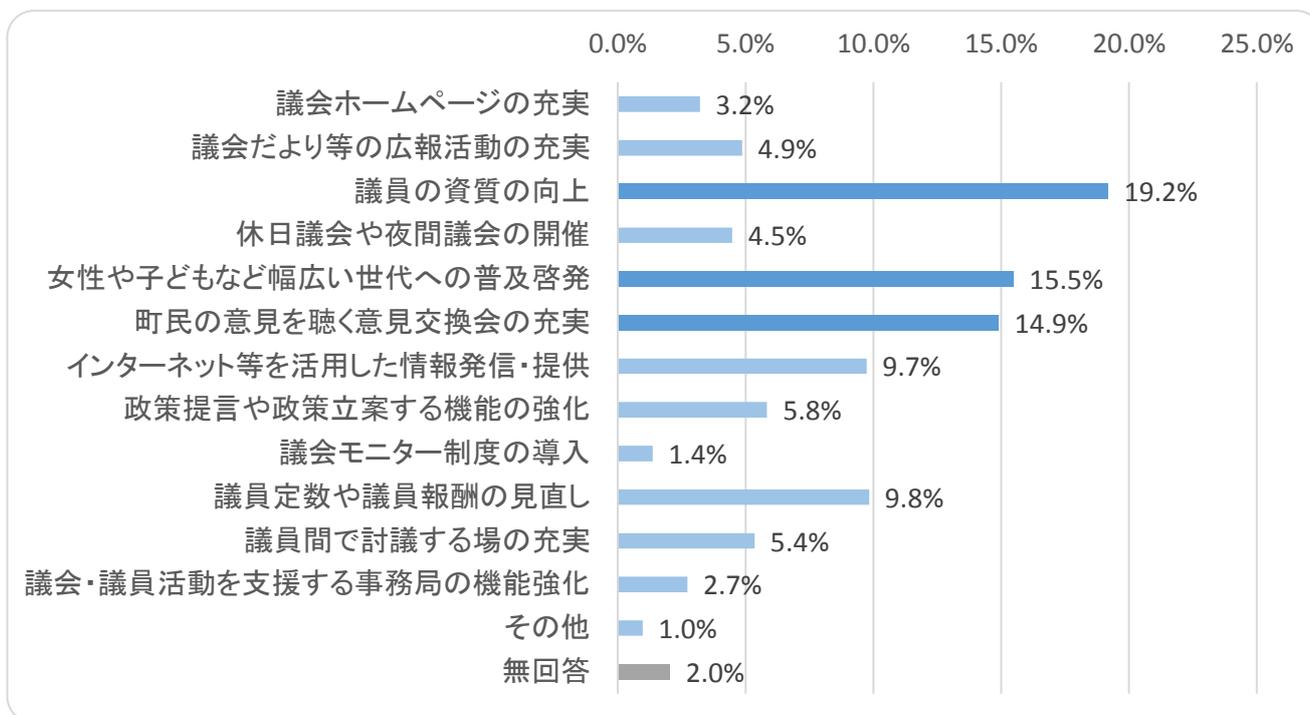
《議会運営活性化の取り組み》

- ・議員定数の削減
- ・本会議のインターネット中継
- ・議会だよりのカラー化などによるわかりやすい広報活動
- ・議員報告会を意見交換会へと変更することによる町民との活発な意見交換の場の充実



○半数の方は、ある程度評価するという回答でしたが、わからないという回答も多いようでした。

問23 あなたは今後のさつま町議会の改革について、取り組むべき課題は何だと思いますか。
(複数回答可)



(1) 其他のご意見【9件】

- ・若い人が町政を考えたくなる仕組み
- ・フットワークの軽さ
- ・町外で政治活動する新人町議への査問
- ・70歳以上の引退(公務員の定年)
- ・過疎化させないための政策及び実行(防犯対策強化)
- ・他市町の議員との交流の場がもっと必要ではないか。
- ・ちゃんとした議論。執行部となれ合いにならない！
- ・目安場的な、小さな意見を見るのも良いかと思います。
- ・形式にとらわれない議会のあり方。難しそうな議会では誰も興味を示さない。一般の方々に浸透するような噛み砕いた議会を作ってほしい。

○最も多い意見は議員の資質の向上で、次いで幅広い世代への普及啓発という回答でした。また、一般の方にも興味を持ってもらえるように分かりやすい議会にという意見もありました。

問24 さつま町議会に対する意見や要望等がありましたら、何でもご自由にお書きください。
(自由記載)【79件】

<議員関係>

- ・ある町議は公約の町内の子育てなどの活動より、鹿児島市内での女性議員を増やす活動など次の市議選でも目指すのかと地元で心配されてます。一部はリコールとの意見もあるので、しっかり町内に住んで活動してほしい、皆裏切られた感です。
- ・各議員の活動内容の詳細と評価その実現度の評価。
- ・各地域の議員が集まる場でさつま町だけが何も発言しなかったと聞きすごく残念でした。
- ・議員個々、数名に定例会毎に報告書、後援会だより、SNSなど努力されており、住民と議員との接点、情報共有があり、活動がよく判り、とても良いと思います。
- ・議員さん方いつもさつま町そして私たち町民のために働いてくださってありがとうございます。

- ・議員さん方皆さんがとは限らないと思いますが、私の知っている議員さんは広報紙を配布されていて、活動内容等記載し頑張っている印象です。政務活動費は必要ないに丸をしましたが、町民のために使っていただき、そして必要ならば支給されるのは賛成です。ただ議員さんは(議員定数)多いのかなと思います。
- ・議員の方々の通常における活動不足があり、同じ公民会であるのに議員であることを知らない方が多数おります。意見交換会だけではなく、また選挙運動時、又他公民会を回るのではなくて、常日頃顔を出し、町民に知ってもらうことも必要だ。
- ・子育て世代20代から40代には身近に感じにくいのが正直な感想です。
- ・議員の方が普段なにを町のために行ったのか、もっと明確に実行したことなどを町民にアピールしてほしい。
- ・議員の方には特に議員としての意見等も言わずさつま町のために活動していないものもいるということを小耳にはさんだことがあります。
- ・議員は仕事(給与をえるだけ)のものであって、町をよくするためのものではないと感じている。報酬は日当(3,000円から5,000円)とし、広い年代が参加できることが大切になる。お金(税収の収支が大きい)人(生涯として)考えた町づくり。点だけの政策は意味がない。さつま町は端から端までです。点を線にする考えを。
- ・議会運営活動のことをあまり知らずにこの歳までできました。女性にももっと活躍してもらい女性目線からの意見も聞いてほしいです。資源ごみの分類等、分からない人が多いです。分類しないで1つの袋に入れてある。せめてビン類と燃えないものに分別してあげればいいのですが、それすらしていない人が未だにいます。けしからん。
- ・議会で一般質問をしない、まとを得ていない質問をしている議員が見受けられる。提案するだけでなく、自ら活発に動く議員が増えれば違うのかと思う。若い人が議員となるには安定した収入は不可欠と思われるので、定数減と報酬増をセットで実施すべきと思う。
- ・給料の高い低い仕事の内容が全然見えてこない所以他所と比較できない。ここ数年のうち会報、地域の近況等知らせてくれたのは1人だけ。町民全員がインターネット、議会傍聴等できないので。
- ・議論、研究、過去の議決の検証。コロナ等国県の右習えでいいのか。問19:政務活動費については、動く者には支給してもいい
- ・もう少し一般質問をしたり、町民のためになるような活動をしてほしい。報酬に見合う活動をしてください。
- ・さつま町総合振興計画、各地区地域づくり活性化計画等を把握して地域住民の代表として住民の立場に立って活動してもらいたい。
- ・さつま町を愛して日頃から頑張っておられることでしょう。これからもさつま町のためによろしくをお願いします。
- ・自衛隊誘致に力を入れてほしい
- ・自分たちの近くに議員がいないため、議員との意思疎通ができません。若い時は身近にいらっしやったため、自分たちも熱心に動きまわっていましたが、後期高齢者になったため今は自分中心に動いているような感じです。これからはもっとその方に目を向けていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ものごとを即決、実行してほしい。実行されるまでに時間がかかりすぎる。
- ・町議員の方たちが頑張っているのは分かるが、その活動について等の発信方法が

申し訳ないが最近まで知らなかった。傍聴・視聴できるというのも今年になって知ったくらい。若い人が気にするような発信の仕方が何かあればいいなと思います。

- ・町議選の時だけは頭を下げるが、当選しても落選しても頭も下げず偉そうにするので、何も議会や議員に期待していません。役場職員からも議員にいうと面倒だから言わずに直接役場職員に言ってくれと言われ、議会や議員は必要ないと思っています。どちらが町政や町の運営、決定権があるのか疑問です。このようなアンケートをしても議会事務局が役場職員なので意味もなかったかのようになるので、アンケートの意味もないと思います。今後は反映しないのであれば辞めてください。
- ・年1回(隔年に1回)の報告会では議員では顔も名前もわからない。4年間に1回も顔を出さず、選挙前によろしくと言ってくる議員もいる。中には広報を出したりする議員もいるが新人だけで、古参になると何の役にも立たないからなり手がいないのでは。議員の教育をしっかりと！！
- ・もっと地域のことをよくするように行動する。高齢者社会で若者が住みやすい町づくり
- ・宮之城地区の議員が多く、他の地域の意見が多数決では通らないとききます。もっと周りの地域の声を聞く努力を議員さんもするべきです。それが無いから強い意見も言えないのでは無いでしょうか。

<議会改革関係>

- ・さつま町議会議員の方々によって議会で何が決められ何が変わったのか正直に言って町民のほとんどが知らないと思います。議会だよりをきちんと見ている町民がどれほどいるのでしょうか。まずは、今回のアンケート調査の結果からどのようなデータが得られ、さつま町議会・議員の方々はどう変わるのか、是非さつま町をさらによい町にしてください。
- ・アンケートをいろいろな方にしていただけたらと思います。以前も回答したような気がします。
- ・意見や要望をSNS等で議会、議員に伝えられる仕組みがあればよいと思います。(どこに伝えたらいいか分からない。)
- ・各委員会のねらいや各々の議員さんの意向が伝わりにくいと感じています。関係性が強い方の意見だけでなく、町民全員平等に意見を出せる場の設定(直接的、ネット、アンケート等で)を参考して頂きたいと日頃より思っています。
- ・関心のない人の目や耳にも触れるような活動。現状、関心のある人しか見ない、参加しない状態だと思うので、そうでない人の目にも触れることで興味を持つきっかけになるかもしれない。学校行事の一環として、議員と話し合う場を持つ等。
- ・議員数を減らし、その上で浮いた分の費用を議員報酬に増額する。若い人が子ども、妻もいるなかで若い人が議員をしながらでも生活活動ができる場をつくること。議会における発言や政策立案、政策提案ができない議員は辞めさせるべきです。
- ・議員定数16名から12名へ。人口減少による財政難。議員の資質向上。議員それぞれが定数について議論すべき。16名で多いのか、少ないのかは議員がわかっているはず。議員定年制の導入(70歳定年制の導入)議会のイメージアップ。若い世代に議員になりやすい環境づくり。アンケートでは実際の収入が分かりづらい。活動時間、日数が分からず実労働時間に対しての報酬でいいのでは？政務活動費、期末手当どのくらい手当があるのか？報酬を上げなくても手当で十分では？議会報告会、直接対話の機会を増やす。(議会に興味を持ってもらう努力)議員それぞれの活動状況、取り組みなかなか議員の活動、成果が見えてこない。意見を聞くだけの報告会ではなく、各議員の成果を報告してほしい。

- ・議員の高齢化が進んでいるので、少しでも若い人たちに議員になってもらい活性化してほしい。
- ・高齢化が進む中で、インターネット・ホームページ等の高齢者で使用する人が少ない。公文、又は各種報告説明書等の送付があるが活字を大きく見やすいようにされたい。高齢になると字が小さい文章は読む気にならない。
- ・高齢議員の年齢制限、もう少し女性と若い人に議員になってほしい。いつも同じ顔ぶれに思えるため興味がない。
- ・政務活動費について、支給内容を明確にすることが大事
- ・政務活動費の削減(必要ないと思う)議員定数の削減
- ・選挙のときなぜ公開の立会演説会が行われていないのですか。有権者に主張を公開するべきと思う。議員提案の政策の有無、内容、審議状況をタイムリーに公開すべき。国、県への要望、提案等も同様に公開すべき。審議過程も公開すべきです。住民の便宜と自治体の自治が健全に実施しにくくしている法律や制度の改正への要望を提出しているのか。住民のために法律や制度を変える取組を積極体にするべき。その審議過程を公開することで、住民の町政に対する関心は大きく高まってくると思います。
- ・議員報酬は片手間でなければ現状でいいと思いますが、一人一人が同じでなくて良いと思います。政務活動費は、活動を行う時は申請をして必要額を支給すればいいと思います。議会改革への課題は、今のさつま町の中である問題を見つけることで、議会で話し合う課題を見つける。最後に、さつま町民のために頑張ってください。1つでも良いのでよくして行ってください。
- ・議員報酬は、能力に応じて(の額)。政務活動費は必要なら。
- ・政務活動費の必要性について、人による。
- ・報酬が高すぎる(年金暮らしで大変な高齢者がいるのに報酬が高すぎる)日当制で良いと思う。日頃の議員活動を見直してほしい。(パチンコを毎日のようにしている議員がいる)
- ・やっと議会改革が始まった感があります。議会は行政のチェック機関としての気概をもって取り組んでももらいたいです。議員は個人差もありますが、もう少し勉強してもらいたいです。イエスマン議員は要らないです。政策について、役場と議論できないと何のための議員なのか分からないです。自論を持って取り組んでももらいたいです。
- ・要望等を気軽にできるようなシステムを！
- ・若い(20代の議員)が立候補しやすいようにしてほしい。議員定数を減らしてほしい。高齢の議員が若い人たちの意見を理解できていると感じない。さつま町を盛り上げていくためには若い人たちが頑張らないといけない。そのために働きやすい環境づくりを願う。
- ・若い議員が生活できる報酬をもらい専業で地域のために働いてほしい。
- ・若い議員が欲しい(一生懸命な)これからのさつま町をもっとよくしていく為に。
- ・人口減少の止まらないさつま町はこのままではどうなってしまうのかと不安しかありません。しかし、議員活動は仕事との両立が難しいため、若者のなり手がなく議員年齢層も高いまま。このままでは何も変わっていかないと危惧しております。新しい風を議会にも通すために定員や報酬を見直し、新しい考え方を取り入れていく事が大切だと思います。さつま町は観光、資源、人情においても素晴らしい町だと思っています。そんなさつま町を残すために今までの凝り固まった考え方を捨て、新たなステップへと踏み出して行ければ良いのかなあとと思います。

<町施策関係>

- ・20年後、30年後のさつま町の在り方を考えながらも今の課題(子育て支援や医療体制の充実など)に取り組んでほしい。
- ・町長にも町政報告会を実施してほしい。
- ・人口減少に歯止めがかからない。限界集落もそこまできている。若い人が残るような魅力あふれる町にしてほしい。そのためには町長や議員が我が身を削ってでも本気で町の立て直しをしないと5年～10年後はさつま町はあり得ない。さつま町を改革すること。
- ・さつま町が持続可能な制度(特に人口現状)さつま町地域を生かす方向性を示してほしい。さつま町は10年後、20年後さつま町であり続けるかまた合併か。
- ・グリーンロードをはじめとする道路脇の草木についてですが、草刈りなど定期的に行う事は無理ですか。毎日使う道路ですので、きれいに整備されていると嬉しいですが、シルバーや町民にも参加を呼び掛けてみんなできれいにすれば業者の方が暑い時期に少人数でされてる負担も少しは軽くなるのでは?と思ったりします。
- ・過疎化の速さ、昨今道路の痛みや中央線の白線が消えている箇所が多く見受けられる。日暮れの運転中に何回も対向車に驚かされることがあります。早急な対策を要望します。
- ・カラオケボックスを作ってください。アーティストがコンサートできるような施設を作ってください。チェーン店があるといい。
- ・原子力災害時の避難計画についてももう少し議論を深めていただきたい。(屋地区)現在の計画ではバス利用時集合場所が盈進小に指定されていますが、いざというとき役場本庁舎を含む盈進小周辺に避難者(自家用車使用の方)が集中し、渋滞が考えられます。早急な避難に支障をきたすのではないのでしょうか。
- ・公務員の給料を上げてほしい
- ・子どもたちが安全に遊べる場所がない
- ・マイナンバーカードでコンビニでも休日、夜間問わず住民票などの証明書と交付できるようにしてもらいたい。役場が休日や利用できない時間帯にコンビニなどで交付できないととても不便。
- ・まずは、コロナが増加している中で保健所に熱が出たり、喉が痛かった場合、PCR検査を受付けてもらえず、病院も紹介してもらえない。さつま町としてコロナにどう対応するのか。どう減少させていくのか。不透明過ぎる。議会がどうこうよりも目の前の課題をしっかりと考えて、対策なり指標を示してください。こんな無駄なアンケートをするよりはマシだと思います。
- ・コロナ禍、物価の上昇で貧富の差がさらに広がっているように感じています。それは教育においても子供たち一人一人、個性を伸ばす事ができる教育環境を考えてほしい。ひとり親やさまざまな理由で習い事、塾、部活をさせたくてもできない、学校の今の指導では先生方の負担もあり、一人一人を考える余裕もないのだと感じます。不登校児童も年々増え、このような子供たちを生き生きと過ごせる未来への希望がもてるサポートの場も増やしてほしい。
- ・人口減が心配、町報の出生欄がやばい。子どもを安心して産める不妊の支援また移住者を増やす。観光資源が乏しいが空港や鹿児島市街に近いが静かで住みやすいところ。空き家バンクの活用。農業経営等新しく来た人がこの町に住む地盤が築けることが大切である。
- ・最近空き家が多くなり周辺が荒れた状態になっているところが有り、野良猫が住みつき糞害

や環境が悪くなっている所以对策をとってほしい。

- 人口や税収入等が上がり、生活しやすいまちづくりを。人や仕事がなければ子育て家族に手当ばかりつけても先につながらない。子どもが育っても就学、進学、就職で町外へ出る。仕事、企業誘致を。魅力がないから薩摩中央高校にも生徒が増えない。なぜ議員になったのか。常に学び問い精進を。他の市町村議員の答弁を見るとレベルが低い。広報を見ても歴然。本当にレベルが低い。話にならない。
- 中学生のバスのスクールバス化。バスを待つ場所、乗降する場所が危険な道路だと思う。薩摩中央高校生が昼に帰れるバスがない。中間テストや期末テスト期間を中学生と合わせて一緒に帰れるバスがあると親の負担も減り、通わせようと思う親も増えると思う。現状は通学に不便でバス代も高いことから通わせたいと思えない。空き家対策をして、若者が帰ってきたくなるまちづくりを！
- 町道の見直し(穴あき箇所が多い、狭い道、車が通りにくい2車線にしてほしい)災害時の対応(町の持ち物ではないが崖が崩れた時等)。
- 町内の道路を宮之城から横川方面に車で走ると中心部だけがきれいに整備され、横川方面に行くほど、草・木が繁り道路のひび割れが目立つ。行政、議員の方々は何も感じないのか不思議で仕方がない。町道の整備、伐採も何もされない。宮之城中心部分だけがみごとに整備され、同じ町民でもこんなに違うと不満が出てしまう。
- 人が来てもらえるさつま町へしてほしい。何もないといつも言われる
- 人の流出をおさえてほしい。町外の人が行きたくなるような商業施設誘致してほしい
- 本会議のインターネット中継やわかりやすくしたものを高校の授業などで取り入れる。難しすぎない方がいいと思う。若者の興味を引くため。
- さつま町に未来が見えない。未来に目を向けた種を撒いてほしい。少子高齢化は分かりきったこと。その上で若者が希望を持てるまちづくりをしてほしい。
- 若い人たちが働ける企業を作り多くの人たちが集まれるようにする。

<その他>

- さつまるちゃんをもっと売り出してさつま町を活性化してほしいと思う。さつまるちゃんの魅力を出す。
- 賃金を上げもう少し働きやすい職業になってほしい。毎日、毎日その生活が大事だから暮らしを安定できる賃金。大型店舗を目玉的な東西南北から人が集まるようなコストコみたいな人口が少ないからではなく、今は車の移動が多いから人口に合ったスーパーだけでは町は豊かにならないと思うし、減っていくばかりですね。新しい未来の考え方をしないとさつま町はよくなると思うし、古い考えを持っている方が多いのかな??? 若者はどんどん居住しなくなる、県外へ出ると思う。
- 住みやすいさつま町として誇りに思うような取り組みをしてほしい。50歳の自分も独身であるが納税等しっかりできているつもり。80歳の母親と2人暮らしでも最後までどんな人生になるかできるか不安もあるが母は看っていく覚悟はできている。周りもこんな人はたくさんいる。幸せにくらしていけるさつま町を願う。
- 選挙はあったほうが良い

○自由記載では多くの意見等があり、議会改革について改めて考えさせられる良い機会を得ることができました。

このアンケート結果や参考人からの意見聴取等を踏まえ、議会の活性化に向けて取り組んでいきたいと思えます。多くのご意見、本当にありがとうございました。

今後とも、さつま町議会を見守っていただき、ご意見等をくださいますようお願いいたします。